



ニューズレター あすか

2008
5月号

通算 182号

2008年5月1日

あすか文庫誕生!

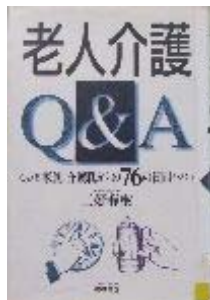
本の貸し出し始めました



新館1階エントランスホールに図書館が誕生しました。絵画メンバーさんの個展を行っているギャラリーにもなっています。お弁当を食べたり、お茶を飲んだり、時にはミーティングをしたりするスペースにもなっています。

介護・看護などの書籍の他、子育て・小説・エッセイ・推理小説など、様々な分野の本を揃えてあります。今年、新入職員も沢山入職しました。大いに利用して勉強して欲しいと思います。ご家族・ご利用者様へも貸し出します。ご希望の方はご利用の事業所のスタッフまでご連絡ください。

おすすめ本



五月雨を
あつめてはやし
最上川

書道参加のご利用者様作
カレンダー



【目次】

【ページ】

- 1. ユニットケアとは?..... 2
- 2. おもしろきかな我が人生
～岩原 義喜さん～..... 3
- 3. アートの世界..... 4
- 4. あすか事業所だより..... 5
- 5. あすか事業所だより..... 6
- 6. あすか5月のロードショー
- 7. 若竹句会 3月作品抄 7
- 8. ホームページの紹介..... 8

ユニットケアとは？

本年8月に開設されるあすか療養センター(入院、ショートステイ、デイサービス)ではユニットケアを取り入れた介護を行います。そこで職員研修を始めています。つどいの家やあすかショートステイ事業所、入院においてもユニットケアの利点を取り入れようと今、勉強中です。先日、ユニットケアリーダー研修を終了しましたので、今回ユニットケアについて簡単に説明したいと思います。

ユニットケアは、従来型ケア(集団ケア)からの脱却を目指して生まれました。多数(ご利用者様)対多数(職員)であった従来型のケアでは、施設の日課にご利用者様が合わせる・介護する側の都合に合わせた日課など業務に合わせたケア主導になってしまいがちです。そういった従来型から個別ケア実現に向けて、ユニットケアに注目が集まっています。

ユニットケアの理念としては、「**介護が必要になっても、ごく普通の暮らしを営む**」ことであると言われています。ユニットケアは、ただ単に少人数に分けてケアをしたり、個室をつくることではなく、障害や認知症を持った高齢者であっても、個性や生活のリズムに合わせて、その人らしい暮らしを支援していくことが目的となります。

上記にある「ごく普通の生活を営む」とはどんなことでしょうか？通常、私たちは自分自身で立てたスケジュールに沿って、日常生活を送っています。朝何時に起きるかは自分の自由ですし、食事を取るか取らないか、何を食べるか自分自身で決めることができます。しかし、そういったことが自分が高齢になったり、何らかの理由でできなくなったとき、「今までと同じように生活したい。」と誰もがきっと望むことだと思います。今までと同じように生活が送れるように、ユニット内での生活が限りなく在宅生活に近いものにしていく手法の一つがユニットケア(個別ケア)とされています。

ユニットケアを実践するためには、「ハード(環境)」・「ソフト(暮らしのサポート)」・「システム(仕組みづくり)」の3要素が重要になってきます。



- ・ **ハード(環境)** 当たり前の住まい環境。普通の暮らしぶりをどれだけ建物や設備に取り入れることができるかという視点が大切になってきます。
- ・ **ソフト(暮らしのサポート)** ご利用者様が今までどんな暮らしをされてきたのか。その暮らしのリズムに沿って、サポートしていくことが基本になります。
- ・ **システム(仕組みづくり)** . . . 「ハード」・「ソフト」が有機的・効率的に結びつける「システム」の構築がユニットケア実践のカギとなります。

しゅりあちょーくサブリーダー 松本 勝幾



「妻と二人三脚
で歩んできた
歴史を大切に
思っています」

大正14年7月24日(82歳)

お住まい...安佐南区緑井

好きなスポーツ...バレーボール

手放せないもの...車

農業をする

私は川内で4人兄弟の3番目として産まれました。

子どもの頃の思い出はなんだろうかと考えてみると「百姓の手伝い」だったなあ。家は農家で年中忙しく、小学校4年の頃から遊ぶよりも畑の草抜きでした。一番草を取るのがやねこかったのは玉ねぎ。玉ねぎが大きく育つと中腰で草を抜かなければならぬため、体のあちこちが痛くなっていました。雨の日は蓑笠を身に着けて畑へ。時々雨が漏ってびっしょりになったこともありましたが、やれなかったねえ。

6年生になると体育の山中先生の勧めでバレーボールを始めました。それはすごくおもしろかった。その頃、強豪チームは嚶鳴小学校(現在の古市小学校)有名な鬼コーチ頼実先生により広島県でトップクラスでした。川内も強かったが、嚶鳴小学校には敵いませんでした。バレーボールに打ち込めたことは本当にいい思い出となっています。高等科2年を卒業してから緑井のおばさんの家で暮らすことになり、すぐに考えた事、それは「農業」を継ぐということです。父は「会社員になれ!」と言いましたが、自分で決めた事は曲げられませんでした。

戦艦づくりと大工

昭和17年、徴用工となり、呉工廠(船を造るところ)で働いていました。大和・

武蔵・伊勢・日向と有名な戦艦を修理したり、造ったり、改造をしていました。ここでの仕事は大変でしたがとてもやりがいのある仕事でした。そして19歳のとき軍隊に入りました。つらい時代でした。一番苦しいときに産まれたのだと私は思います。自慢できることはただ一つ。いろんな戦艦に乗れたこと。今でも大和や武蔵の偉大な姿が目につかびます。

23歳の時、近所の人の勧めで結婚。子供も2人授かりました。農業をずっと続けてきましたが、私が40歳の頃埋め立てのため農業が出来なくなりました。そこで始めたのが大工です。積水ハウスへ勤めることになりました。初めは運転手でしたが「大工もやってみろ」と言われ、大工職人に。いろんな家を建てました。しかし危険はつきもの。屋根から2回、天井から1回転落したことがあります。不思議なことに怪我はしませんでした。運がいいのか器用に落ちたのか?たいした事無くてよかったです。と思っています。人生は早いものであつという間に73才になり、大工という仕事を退職しました。

今の生活

それから2年後病気になる、60日

間入院しました。その時支えてくれたのが妻です。本当に妻は優しく、言葉では言い表せないくらい感謝しています。たいした人です。今まで一度も喧嘩したことがないです。退院後「体のために何かしないといけない」と考えた時、ケアマネさんに、しゅりあちよーくのことを聞き見学に来ました。その時、パワリハを見て魅力を感じ、ここでパワリハをすることに決めました。今は早く病気を克服する為に、パワリハで汗を流し、詩吟や民謡でしっかりと、口を動かしています。目標はもう一度自動車を運転することです。妻と支えあいながら楽しい人生をこれからも送っていきたいと思っています。



歩幅を広げるストレッチ

長い人生の中で夫婦の絆って素晴らしいなと話を伺う度に感動しました。岩原様が頑張ってるパワリハをされている姿を見て、私はいつも元氣と勇氣をいただいています。

しゅりあちよーく 花本一美

船越シン子さん (87歳) まやるちょーく

「絵を描くのは大好き！」とおっしゃる船越さん。お気に入りには桃の花の絵だそうです。「これからも一生懸命頑張ります！」と元気一杯でした。



川野久子さん (87歳) まやるちょーく

絵画展は「恥ずかしいばかり」とおっしゃる川野さん。他のご利用者様から、絵を褒められたり「書道もされてるんよねー」と言われ、ますます照れていらっしゃいました。



大上友春さん (83歳) しゅりあちょーく

「絵画は2年前、他の利用者に誘われて始めた。せっかちだから、2回で1枚の絵が完成するね。俳優であり、芸術家の“片岡鶴太郎”が好きなんよ。」

原色を使われ、力強いタッチと“スカッ”とした色彩で作品はどれも魅力的です。



しゅりあちょーく

お寿司バイキング

手作りとは思えないほど本格的なお寿司カウンターの前に今か今かと、ご利用者様が大将のにぎつてくれるお寿司を待っていらつしやいます。大将の「何にいたしましょー!」の一言から「穴子ください!」「こつちはマグロね」と元気な声が飛び交いました。人気の寿司ネタは品切れになるほど大盛況で「本当のお寿司屋さんに来ていてる雰囲気だ、ついたくさん頼んだよ。とても美味しかったよ」と満足のひとときでした。

3/6



かるやんちょーく

ひな祭り

かるやんちょーくでは、2月からひな人形の手作りを始めました。ペットボトルを軸にして、頭は布で覆って丸め、髪の毛は毛糸で、胴体の部分は端切れで覆って着物にしました。個性溢れるひな人形ができ上がり、華やかな5段飾りが完成しました。みなさんでうっとり眺めながら、ひと味違うひな祭りとなりました。



ひな人形をみなさんで
一から手作り!



きれーい!立派な5段飾りが完成!

桃の節句

お雛様とお内裏様に扮したご利用者様が登場されると皆さんから「かわいい」と歓声があがっていました。桃の節句は女の子の節句ですから女性の方は、口紅を塗り、髪に花の髪飾りをつけました。

おやつの中には、ご利用者様とスタッフと一緒に作った甘酒とひなあられを頂きました。

ご利用者様からは「久しぶりに飲んだわ」「おいしい」と好評でした。楽しいひな祭りになりました。



お内裏様
河原様

お雛様
嵐様

唄と踊りの集い

詩吟の脇坂先生・民謡の正木先生・中村民舞サークルの方々による「唄と踊りの集い」が行われました。

民謡の曲に合わせて、ご利用者様全員でポールを回し、曲が止まった時にポールを持っていた方が「金毘羅船々」を歌ったり、ポラントイアで参加して下さったタクシーの運転手さんが女形に扮し、民謡の正木先生と一緒に「歌と踊り」を披露してくださいました。ご利用者様は割れんばかりの拍手と、「日本ー！」などのかけ声、歓声で盛り上がりおられました。

最後は、「きよしのズンドコ節」を炭坑節の踊り方で、スタッフ・ご利用者様・先生方や民舞サークルの皆様が一緒になって楽しく踊りました。



炭坑節を踊られる仁村様

あすか 5月のロードショー

つきがみ 【憑神】

あらすじ

時は幕末、下級武士の別所彦四郎。学問所では優秀であったが身分制度に縛られ身動きできず、その上婿養子先から追い出され、もはや困ったときの神頼みと拍手打った神様が悪かった。何と現れたのは貧乏神・疫病神・1200歳の死神・憑神様だった…。全てのツイてない人に幸せを呼ぶ大型時代活劇。



出演：妻夫木聡
夏木マリ

監督：黒降旗康男

この映画は しゅりあちょーくで5/15(木)

ショートステイで5/18(日)

まやるちょーくで5/19日(月)・20(火) に上映します。

各事業所のシアター開催曜日は下記の通りです。

しゅりあちょーく	まやるちょーく	ショートステイ
毎週月・木・金曜日	毎週月・火・金・土曜日	毎週日曜日

各事業所では上映する映画についてのアンケートを実施中です。
皆様のご希望により新しい映画もどんどん上映していきます。

若竹句会三月作品抄

信廣高陽 選 (平成二十年)



白魚や 透けて見えるは 湖の色

河野 一枝

〔寸評〕白魚は長さ六・七センチ、やせ形の半透明で、腸も透いて見え、黒点を置いたように眼が鮮やかです。白魚は近海魚で一・二月頃川を上ってきますが、その短期間が味もよいといわれています。この句、中七、下五の生き生きした描写がいのち。しらゆのおの躍り食いしたときの一句かも？



広き海 寒海苔積んで 船帰る

常広 信枝

〔寸評〕海苔は、冬から早春にかけてとれるが、浅草海苔は寒中のものがもつとも上質とされています。広い海の中にボツンと一艘の船が見えた、海の幸、寒海苔を満載して…。エンジンの快い音も聞こえてきます。瀬戸内の冬の夕景色。

植木鉢 そおーっと芽を出す 春の花

西 富枝

〔寸評〕花とはふつつ桜の花を言います。しかし、「花といふは桜の事ながら、すべて春の花をいふ」(白冊子)とあるように、桜以外の千草万木でも「春の花」として三春の季語に用いられます。この句、果たして何の花芽でしょうか。

針供養 ゆかたを縫いし その昔

大北 政子

〔寸評〕針供養は関東では二月八日、中部以西では十二月八日に行われている行事です。針休みともいわれ、針を休ませ、折れた針を供養する日とされ、一年間に折れた縫い針を豆腐に刺して神社に納めたり、紙に包んで海に流したりしました。この日は元来、慎む日であり針を使用することが禁忌とされている。この句、作者には初めてゆかたを縫った思い出がある。それは遠い昔のこと、針供養がくるたびにそのことを思い出すという女性ならではの懐旧の一句ですね。

古い二人 笑うときあり 春炬燵

栗根 年雄

〔寸評〕春になってからまだ使う炬燵を「春炬燵」といいます。とり去ってしまったにはまだ早くその上親しみの情が残っていて名残の惜しまれる存在となっているのです。夫婦生活は空気のようなもので、交わす言葉も少なく、笑うことも少ない、それでいて平和な家庭が築かれているといわれます。この句、夫婦笑い合つことが句材となるとは、すばらしいですね。季語「春炬燵」が効果的です。



見る雨と 聞く雨のあり 春浅し

伊木 幹枝

〔寸評〕二月ころ、春になってもまだ寒く、春色なお十分にはとこのわぬ季節のことを「春浅し」といいます。この季節に降る雨には、外に出て眺める日、寒さのあまり音を楽しむ日があるという。いずれにしても見てよし、聞いてよし、春を待ち望む心が伺われる一句。

選者 吟

山川と 言はず家並みも 霞けり

信廣 高陽

ホームページの紹介



あすかのホームページをご紹介します。
第11回目は回想法です！

インストラクターの紹介

花本 一美

私があすかに入社したのは平成14年7月です。これからの時代どんな仕事がいいのかと考えたとき「高齢者を支える社会」では？と思い「介護」の世界に飛びこみました。そして現在「回想法」の担当になり、一年が経ちました。昔を思い出させる写真や道具を使い、遠くの記憶から近い過去に触れ、心の豊かさを引きだし、話をしたことが自信につながって頂ければなあと思いつつ、大切な時間を過ごしています。何気ない一つの課題から会話が膨らみ、笑顔でいきいきとされているお姿に嬉しく思いつつ、耳を傾けコミュニケーションの輪を広げていきたいです。



花本 一美

あすかでの 回想法の目的

しゅりあちよーくで行っている「グループで行う回想法」は社交的な活動です。他者の話に耳を傾けたり、皆さんの前で話をしたり、自分の体験談が他の人から興味をもたれることに、また何らかのエキスパートとして見られることに満足感を得て頂けるために行っています。回想法によって何年も忘れていたような事を肯定的に回想することで、大きな喜びを得たり、自己評価が高まるという効果が上げられると言われてしています。

今後の展開

お話の内容がお一人おひとりが主役になれるよう、また楽しい思い出のお話で充実した時間が共存できるよう進めて参ります。視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚といった五感に訴えられるものをこれからも行っていきたく思います。

Specialist (専門家)

職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要なサービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

～医療法人あすかの理念～

当法人は

ISO9001 の認証施設です



【編集後記】

1ページ目は、モノクロページであすか文庫の癒しの空間をなかなかお伝えしにくいのですが、とても雰囲気よく落ち着いた場所になっています。どうぞお立ち寄り下さい。

5.6ページ目には、各事業所のイベントの様子を掲載しています。紙面の都合上掲載しきれなかったのですが、ご利用者様の楽しそうな写真がまだまだ沢山ありました。

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美・富永 さゆり)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

あすか通所介護事業所	082-830-0552	あすか短期入所生活介護事業所	082-830-0552	あすか通所介護事業所	082-870-3800	あすか通所介護事業所	082-870-3800	あすか通所介護事業所	082-870-3800	あすか通所介護事業所	082-870-3800	高橋内科小児科医院	082-879-3143	あすか居宅介護支援事業所	082-830-5177
野ばら		つどいの家		しゅりあちよーく		かるやんちよーく		まやるちよーく							

高齢者の在宅療養を支援します
ご相談はお気軽に

“ニューズレターあすか”は当法人のホームページ上でも見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>